

TALLER
MECANICO

de G. GONZALEZ

プランチヤ機
カルデーラの
修繕其他

SAN JOSE 220

U. T. 38 - 5923

時計修繕
電話で御一報次第参上致します
市内カピトルド街一七七八
電話(五二)〇九三三
守屋利夫

CABILDO 1178

U. T. 52-0933

齊藤染色工場

設備完全
仕事入念

邦人間唯一の
染色工場

BELGRANO 3061

U. T. 45 - LORIA 5442



Av. La Plata 1416

U. T. 60 - 9421

新ニシヤ機
TBPインク印
カルデーラセント
リッパ・グ・エ・エ
のプランチヤ機
製造販賣修繕
高橋秀雄

写真師 佐藤貞則
自宅出張撮影
複写引伸し
習字・寫眞でも御受け致し
SALTA 158
U. T. 37-3704

TOYOKEN

25 DE MAYO 356

U. T. 31 - 0739

東洋軒
料理部
純日本料理
折詰弁当
丼物・切類
畫食
配達致し
相変らず
作引立を

Masajista Japonés

SEGUROLA 1992-6
U. T. 67-4591

日本式マッサージ鍼灸
リウマチ・神経痛・時疫感冒
胃腸病その他一切の疾を効
日本書系は西坂商店で
取次致して下さ
山田忠重

GRAN PREMIO EXPOSICION DE LA
INDUSTRIA ARGENTINA 1988-94

BILLARES BRUNSWICK
BANDAS MONARCH
ULTIMA NOVEDAD "SNOOKER"

Solicite informes



Cía. Brunswick Sudamericana S. A.

1894 - CANGALLO - 1900
U. T. 47, Cuyo 3577 - Buenos Aires

MATSUYA HOTEL

TACUARI 580
U. T. 34 - 1344

親切丁寧
顧客本意
浴室完備
まつや旅館
料理仕立・井物一切
日本菓子製造致す
の会合に應じます

だ井物一品料理仕出し
すし・そば・饅頭・賣出し
御婚祝・御誕生の祝儀
御注大に應じます
松田清市

BOLIVAR 1556
U. T. 23 - 4092

"PLATA BRAUN" MARCA REGISTRADA



カフエーバー
レストラン用の
メタル製品の
御用命は日本人間
に絶大の信用ある
NISHIMAN
月賦拂の御注文に
應じます

BERNARDO BRAUN e HIJO

CORRIENTES 4349 U. T. 54, Darwin 4111

A L M A C E N

NISHISAKA

AUSTRALIA 1101
U. T. 21-2915

醤油味噌
深巻香物 製造販賣
日本食料品輸入販賣
島平万蔵
値段勉強配達迅速
西坂實業商店

Ernesto Coco

15 DE NOVIEMBRE 2335

U. T. 23 - 2835

ケロセン廉賣
永年日本人洗濯店
並に御家庭の
御職員を蒙つて居ります

領事館銀行・船会社に近く
御乗船御下船の便よし
御下宿
御旅館
地方へ出武の節は是非御参上致す

昭和館

25 DE MAYO 330

U. T. 31 - 5145

BUENOS AIRES

"KEROGAS"

Ing. F. STUCKLER

U. T. 51-3252 PACHECO 3260

最新型ケマドリレス及び
タンクレス・フレキシオン
製作販賣
諸種ケマドリル修繕・部分品
販賣・日本人間にも多数顧客
左有し仕事は入念迅速・電話
で御一報次第至急参上致します

TALLER GRAFICO

NIPPON

SANTIAGO DEL ESTERO 975

U. T. 23 - 7864

刷印版活文西

堂ニホツニ

種各他其・刺名前針等便
寸寸上致命用御拘不・少多

総川北

参観の内山公使も満悦

邦人の入賞者廿数名

既報一秋の七草のり
め現代園藝技術の所
産なる多種多様な花
弁を一堂に並べ、そ
の花の大きさ色合香
気等々の方面から品
定めを競ひ、恒例
の要園園藝協会主催
の秋花品評会は去
る十一月十三日の三日間
は、東京市花市市場二階、広
大のサロンの下に催され、大
勢の邦人、同連月歩
の発展を著す邦人入賞者
栽培者の入賞者前回は勝
の好成绩を示して、十二
日午後参観のため、右品評
会場を訪れた内山公使

秋花品評会

既報一秋の七草のり
め現代園藝技術の所
産なる多種多様な花
弁を一堂に並べ、そ
の花の大きさ色合香
気等々の方面から品
定めを競ひ、恒例
の要園園藝協会主催
の秋花品評会は去
る十一月十三日の三日間
は、東京市花市市場二階、広
大のサロンの下に催され、大
勢の邦人、同連月歩
の発展を著す邦人入賞者
栽培者の入賞者前回は勝
の好成绩を示して、十二
日午後参観のため、右品評
会場を訪れた内山公使

鉢物

一菊 高市一シクラ
一梅 賀集 高市、赤
一仙掌 仙掌 仙掌
一仙掌 仙掌 仙掌

切花

一菊 久木 安南
一仙掌 仙掌 仙掌

公使の國公式訪問

信任状捧呈のため

内山公使は、早稲、運、明十
五日夜中村商務官、古川商務官
記生同僚、ウルクアイ國公式訪問
のため出発、モンテビデオ市に於
て、同市市長の意向、大統領領
事、御信状捧呈を、同
國政府要人と面談、種々外交工作
を遂げる筈である。

山下汽船支店

山下汽船支店は、去る十二
日夜、新橋西口四番デツキに、磯
油中の山月丸船内、当地内外
人荷主並に公館買等招待、晚
餐会を催したが、出席者約八
十名に上り盛会であつた。

山月丸に荷主招待

山下汽船支店は、去る十二
日夜、新橋西口四番デツキに、磯
油中の山月丸船内、当地内外
人荷主並に公館買等招待、晚
餐会を催したが、出席者約八
十名に上り盛会であつた。

文化協会強化

ウルクアイ國訪問は、ウルクアイ
文化協会の強化に資するものと
見られる。

防共戦線異状なし

日英同盟訪問に因り、英
仏露官製電波は、極度に不安定
の極に達し、句は、句は、句は、
る当地外字新聞は、見るも、い、
は、あるほど、吾々の、調、調、
した。其一度、軍、軍、軍、
説、説、説、説、説、説、説、説、
脚、脚、脚、脚、脚、脚、脚、脚、
サ、サ、サ、サ、サ、サ、サ、サ、
の、の、の、の、の、の、の、の、
伊、伊、伊、伊、伊、伊、伊、伊、

一、日、日、日、日、日、日、日、日、
二、日、日、日、日、日、日、日、日、
三、日、日、日、日、日、日、日、日、
四、日、日、日、日、日、日、日、日、
五、日、日、日、日、日、日、日、日、
六、日、日、日、日、日、日、日、日、
七、日、日、日、日、日、日、日、日、
八、日、日、日、日、日、日、日、日、
九、日、日、日、日、日、日、日、日、
十、日、日、日、日、日、日、日、日、

一、日、日、日、日、日、日、日、日、
二、日、日、日、日、日、日、日、日、
三、日、日、日、日、日、日、日、日、
四、日、日、日、日、日、日、日、日、
五、日、日、日、日、日、日、日、日、
六、日、日、日、日、日、日、日、日、
七、日、日、日、日、日、日、日、日、
八、日、日、日、日、日、日、日、日、
九、日、日、日、日、日、日、日、日、
十、日、日、日、日、日、日、日、日、

一、日、日、日、日、日、日、日、日、
二、日、日、日、日、日、日、日、日、
三、日、日、日、日、日、日、日、日、
四、日、日、日、日、日、日、日、日、
五、日、日、日、日、日、日、日、日、
六、日、日、日、日、日、日、日、日、
七、日、日、日、日、日、日、日、日、
八、日、日、日、日、日、日、日、日、
九、日、日、日、日、日、日、日、日、
十、日、日、日、日、日、日、日、日、

一、日、日、日、日、日、日、日、日、
二、日、日、日、日、日、日、日、日、
三、日、日、日、日、日、日、日、日、
四、日、日、日、日、日、日、日、日、
五、日、日、日、日、日、日、日、日、
六、日、日、日、日、日、日、日、日、
七、日、日、日、日、日、日、日、日、
八、日、日、日、日、日、日、日、日、
九、日、日、日、日、日、日、日、日、
十、日、日、日、日、日、日、日、日、

一、日、日、日、日、日、日、日、日、
二、日、日、日、日、日、日、日、日、
三、日、日、日、日、日、日、日、日、
四、日、日、日、日、日、日、日、日、
五、日、日、日、日、日、日、日、日、
六、日、日、日、日、日、日、日、日、
七、日、日、日、日、日、日、日、日、
八、日、日、日、日、日、日、日、日、
九、日、日、日、日、日、日、日、日、
十、日、日、日、日、日、日、日、日、

一、日、日、日、日、日、日、日、日、
二、日、日、日、日、日、日、日、日、
三、日、日、日、日、日、日、日、日、
四、日、日、日、日、日、日、日、日、
五、日、日、日、日、日、日、日、日、
六、日、日、日、日、日、日、日、日、
七、日、日、日、日、日、日、日、日、
八、日、日、日、日、日、日、日、日、
九、日、日、日、日、日、日、日、日、
十、日、日、日、日、日、日、日、日、

トール船乗組員募集

トール船乗組員募集
甲板部員、機関部員、船務員
並に各等見習員を募集す
一年齢十八才以上二十五才迄
身体強健、意志堅固なる者
(二世正正向はす)
一待遇(船員資格所有者
は優遇)その他はより之を
定む(見習員は月給を百
ペン内外別に食費・宿舎を
給す)
履歴書及身分証明書を携
の上本社へ
面談時間午前十時より同十
二時迄午後三時より同五時迄
南米水産株式会社
市内ブレンサ街一五九七

南遊子

南遊子
南遊子

出武

出武
出武

来亜

来亜
来亜

出武

出武
出武

来亜

来亜
来亜

出武

出武
出武

来亜

来亜
来亜

ラキリアム・ブシ
ソシオベルド商会
代理人
グイセシテ
シリアリエロ
和 優良球根
各種販賣
入 輪直 産和

RIVADAVIA 5871
U. T. 63-5982

日本産敷 建築
文化住宅
家具製造修理其仕の御用命を承給
大工指物師 山本 玄
Av. del TERCER 4817
U. T. 741 (Florida) 3150

歯科医療の
御相談に應じます
日本歯科
医学士 山本実雄
應接時間 午前八時—午後十時
市内セントトリオス街九七三
電話・ロ・二・三三〇・五四二

MEDICINAL NEWS
28 - Suipacha - 28

。淋病梅毒 治療代は全治後頂きます
。肺結核新療法 月十ペソからの便あり
。婦人科。電氣治療科
。X光線科 (各科専門医十名)
診察料三ツ 週午前九時—十二時
週午後二時—八時
。日曜祭日は午前中

SEMILLERIA
Juan Calé & Cia.
CASA MATRIZ
125 - PUEYRREDON - 125
U. T. 47, CUYO 0065 y GUYO 0066
COOP. TEL. 1137, OESTE

Sucursal N.º 1: CORRIENTES 3175
U. T. 82, Mitre 1954-C T. 823, Oeste

Sucursal N.º 2: RIVADAVIA 2425
U. T. 47 Cuyo 8098-C T. 1105, Contr.

琉球三味線教授
土曜日午後二時より
初等科
日曜日中等科
安里亀榮
MOMPOX 1646
U. T. 23, B. Orden 8424

JUGUETERIA
TORRO
SARMIENTO 540
U. T. 34 - Defensa, 1687

SASTRERIA "TORRO"
SARMIENTO 654
U. T. 35, Libertad 1392

品買本位
仕立入念
ハナハベツ
より各種
トロー
高等
洋服店
この店告加技者
御持参の方には
一割引致します

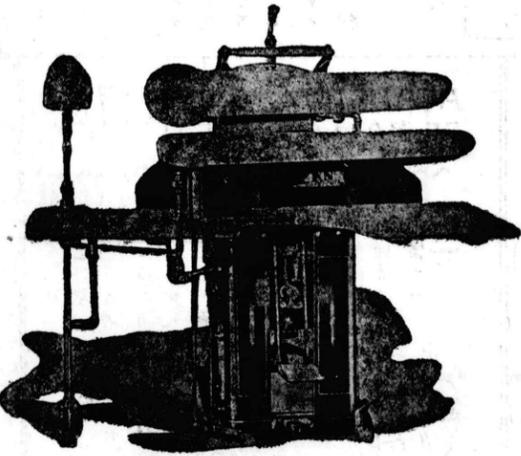
玩具御買求むは
廉價在庫品豊富の
トロー玩具店で
日本製玩具あり
御申込次第型録進呈

東キ 科
医学士 國分鉄藏
左記に於て歯科医療の
御相談に應じます
ドクトルエドアルドキンターニヤ歯科医院
市内エドラス街六九二、四階
テラルメントN電話三三三三三〇

Franz y Fritz
DANCING
348 PARANA 350

一階に新設致しました美しい
冬の花園の御披露致します
ワリエテは毎日午後六時半より
小ルンチ附コペティン一ペソ
樂團は有名なカナロのオルケスタ
夜の部 西班牙及び各國の藝術の粹を
集めたワリエテを二回開催
百名の麗人ダンサー!!
卅名の藝術家登場!!
日本人のモーションがサーピス致します

式ンマフオ舊新
賣安大機ヤチンラフ



SALTA 431
U. T. 38, Mayo 0999

機ンマフオ るな飲無全完の古中
すまし致賣販てに拂支件條好安格
(可もてに紙手の文本文日は文註御のりよ方地)

ホフマン式フランチヤ機
並にカルデーラの修繕取付
一切廉價に引受け致します
ホフマン会社
指定機械師 トリビオゴメス
CHACABUCO 896
TELEFONO PARTICULAR U. T. 23, B. ORDEN 4564
U. T. 34, DEFENSA 1192

御旅館 双葉
御下宿 双葉
和洋食月極めに應じます
皆様の御愛顧を願ひます
尾崎幸千代
PATRICIOS 96
U. T. 23 (B. Orden) 5735

CLINICA MEDICA CANGALLO

CALLE CANGALLO 1542

Atendida personalmente por su Director

Dr. A. GODEL

Médico Cirujano

最新式獨乙療法
 淋病——根治療法
 梅毒——六〇六号九一四号
 婦人病心臓胃腸 各科専門
 肺腎臟神經系統
 ◎日本人方には初診無料
 X光線 デアテルミ 血液検査
 診察日 自午前九時 至 十二時
 自午後三時 至 九時
 日曜 祭日は午前中

無痛歯抜 ニベソ
 セメント充填五ベソ
 金冠 拾五ベソ
 金入歯 拾五ベソ
 総入歯 六拾五ベソ
 診察時間
 午前九時より
 午後八時まで

DR. E. BULJEVICH

BDO. DE IRIGOYEN 1404
 U. T. 23 - (B. O.) 0279

CAFE JAPONES

de K. UCHINO

LAS HERAS 667

TUCUMAN



ツクマン市
 内野喜吉

GRAN TALLER "EL ASAHI"

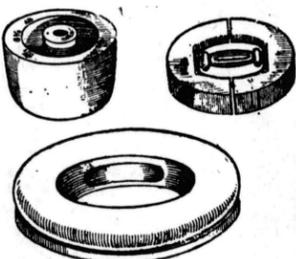
de MIYAZONO Hnos.

Casa Matriz:
 CHARCAS 1873 - U. T. 44, JUNCAL 4366
 Sucursales:
 BME. MITRE 2511 - U. T. 47, CUYO 7159
 RIVADAVIA 5202 - U. T. 60, Caballito 4738
 BUENOS AIRES
 CONSTITUCION 148 - U. T. S. Fernando 46
 SAN FERNANDO, (F. C. C. A.)

LUIS GORI Hnos.

LIMA 1029

U. T. 23-2897



帽子木型製造工場

チントリアの仕事の
 上下手は型の善悪
 に依ります。
 仕事を上手にこなす
 には良い型を使はね
 ばなりません。
 弊工場は、マテラフラ
 マテラコラ、アルゴロ
 マテラ、製革流行型のあ
 りゆる型を最底の市
 場で供給し、田舎から
 の注文にも應じます。

KEROFIX

DEL Sr. ALEMAN (MARTIN)

M. SEITZ & Cia.

Talleres:
 CHARCAS 4511
 U. T. 71-9998

プレンチヤ機
 カルデー用のケマ
 ドレスステコロセン
 製作販売修繕取
 付交換引受け。
 当方はカーサポル
 カン以来御馴染の
 独り人で日本人間に
 数多の顧客を有し
 仕事は入念迅速、電
 話で御一報次第至
 急参上致します。

CAFE Y CERVECERIA LA "SATUMA"

有水武ニ
 久松純雄
 竹内武義
 加藤吉隆

General HORNOS 54

U. T. 23 - 0526

BUENOS AIRES

Doctor Julio Lutzki

A L S I N A 2 4 7 4

U. T. 47 - 5329

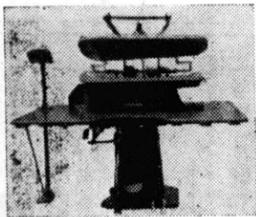
第二心臓肺臟喘息
 診療 午後五時 至 八時
 呼吸器 胃腸 師

FRANCISCO SANTERO

EX-MECANICOS Cia. HOFFMAN

Galle DANEL 1438

U. T. 45-0294



プレンチヤ機並にセン
 トリアが製作販売

Casa MALIS

DEFENSA 717
 U. T. (33) 4382

カフエー店
 就労用衣類の
 御用命は弊店へ
 サコメシコ ミン
 黒チヤヒヨミ甘仙
 黒サコ ハペン
 上等至キムホッ



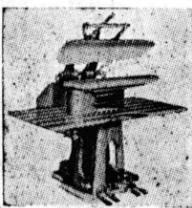
GRAN MERCERIA Y BAZAR

Casa fundada en el año 1923
 PRIMERA Y UNICA CASA JAPONESA
 Ultimas Novedades Para la Moda
 Creaciones en Articulos Japoneses

SE ATIENDEN PEDIDOS TELEFONICOS

優良品 廉価販賣
 呉服、太物、小同物
 雑貨、最新流行婦
 人用品及び御家庭
 用品一切小賣店
 同胞に限り割別
 公認代理人
 林甚次郎

CARLOS PELLEGRINI 1153
 U. T. 41, Plaza 1306



Máquinas Hoffman

BELGRANO 525

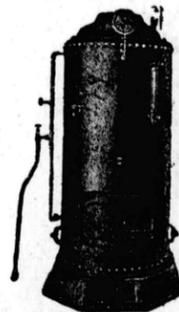
U. T. 34 - 1497

BUENOS AIRES

オフマン式プレンチヤ機及
 同会社製附屋品販賣店は武
 市に於ては当店一軒のみです

TALLER MECANICO A. MENDEZ

CALLE VERA 737 - U. T. DARWIN 1108



新品中古大型小型各種
 カルデーアハポール販賣

Congreso de la Nación

PRIMER MENSAJE DEL PRESIDENTE ORTIZ

El miércoles 11, con el ceremonial de práctica, fué inaugurado el 75º período de sesiones del Congreso de la Nación Argentina, cuando leyó su primer mensaje el presidente, Dr. Roberto M. Ortiz.

“Me presento por primera vez ante el Honorable Congreso de la Nación, en cumplimiento de un deber constitucional — dijo, — para exponer mi pensamiento de gobernante y mis anhelos de argentino. No me propongo — agregó, — en esta ocasión, desarrollar ni analizar conceptos o programas teóricos de mi labor presidencial, que de sobra conocéis”.

Después de esbozar algunas ideas, aunque no concretas, expresó el señor presidente, lo siguiente: “Si durante el período de gobierno dejo resueltos, aunque sólo sea en parte estos problemas, pero encaminados ya en forma definitiva sin que nada pueda perturbar su dirección futura, habré colmado mis mayores aspiraciones de gobernante”.

Comentando la labor cumplida en el Ministerio de Relaciones Exteriores, dijo que el mundo ha vivido, en el último año, momentos de tensión internacional demasiado notoria para que sea necesario reseñarla, expresando a continuación, que, pese a ello, “nuestro país se mantiene unido por sentimientos fraternales a todos los pueblos”.

Son muy interesantes las siguientes declaraciones presidenciales:

“La industria y el comercio no han ocupado en el Ministerio de Agricultura el lugar y la importancia que su desarrollo reclama, lo que es explicable por la absorción que impone la gran tarea de organizar las ramas fundamentales de la economía nacional: la agricultura y la ganadería. Para cuidar esta inmensa riqueza todos los esfuerzos han sido pocos. Pero la diversificación de las actividades del trabajo del país no justificaría ya su abandono. La creación de la Dirección General de Industria y Comercio de la Producción es un hecho que por lo menos plantea un problema y llama la atención sobre el mismo. No se comprende que el Estado viva al margen del régimen de numerosas industrias de gran volumen físico y valores ponderables y que no atienda con suficiente atención las posibilidades de otras muchas como los tejidos, el calzado, la molinera, el azúcar, los artículos alimenticios, el pescado, la electricidad, la siderurgia, etc.”.

El régimen de las escuelas extranjeras en el país

Acaba de aparecer un decreto del Ministerio de Justicia e Instrucción Pública, por el cual se fijan normas para el funcionamiento de escuelas extranjeras en el país.

El decreto mencionado establece:

“Toda escuela extranjera de idiomas o religión deberá tener a la vista, en sitio preferente, una bandera argentina y en las aulas mapas del país y retratos de próceres argentinos.

Para enseñar el lenguaje se darán nociones de

H. KATO

Única Fábrica Japonesa de Tejidos de Seda y Gran Instalación de Tintorería

HERRERA 2097 y 2111 U. T. 21-1941

historia y geografía argentina; se explicará el significado de los símbolos representativos del Estado y de las estrofas del Himno Nacional; se formulará un programa de lecciones al alcance de la mentalidad de los escolares sobre el preámbulo y la primera parte (declaraciones, derechos y garantías) de la Constitución Nacional.

Se prohíbe en las escuelas de idiomas la propaganda pública, en forma privada o encubierta, de ideologías políticas o raciales, así como también inculcar en el niño hábitos o creencias contrarias a los principios esenciales y a los preceptos de la Constitución y leyes del país.

La Inspección General, conforme con lo dispuesto en el presente decreto, impondrá las normas de enseñanza y contralor de las escuelas, colegios, academias e institutos que impartan enseñanza de idiomas a alumnos mayores de 14 años.

EL FRACASO DE LA ENTIDAD GINEBRINA

NUEVA YORK, mayo 10 (United). — En el curso de una entrevista, el presidente de la Asociación de la Sociedad de las Naciones, señor James Thomson Shotwell, admitió que se han derrumbado los esfuerzos que realizó durante veinte años el organismo de Ginebra para abolir las guerras mediante la acción colectiva de las naciones. Prevé que serán inútiles los llamamientos de Etiopía, España y China ante el Consejo de la entidad, insinuando que la iniciativa francobritánica de arreglar el reconocimiento de la conquista italiana en Etiopía representa el último golpe asestado a las esperanzas cifradas en la institución, al menos para esta generación. El profesor Shotwell califica esa actitud de “traición a la Sociedad de parte de sus amigos”, y opina que Europa vuelve al viejo sistema del equilibrio entre las potencias.

EL VIAJE DEL MINISTRO UCHIYAMA A MONTEVIDEO

El Ministro del Japón, señor Iwataro Nchiyama, partirá el día 15 para Montevideo, donde presentará al presidente del Uruguay las cartas credenciales de S. M. el Emperador, que lo acredita como Ministro Plenipotenciario del Japón ante el Gobierno del Uruguay.

El Ministro Uchiyama permanecerá alrededor de una semana en la capital de la República Oriental.

DELEGACION JAPONESA DE LA EXPOSICION UNIVERSAL DE TOKIO DE 1940

La delegación japonesa de la Exposición Universal de Tokio de 1940, que preside el señor Tsurukichi Maruyama, y al cual le acompaña nuestro amigo el señor Zoji Amari, llegará a Buenos Aires el 20 de junio próximo, en misión de buena voluntad para invitar al gobierno y pueblo de la Argentina, para que concurra al certamen.

LOS LANCEROS ROJOS DE KIANG-NAN SE PASAN A LAS FILAS NIPONAS

PEKING, 10. — Los caudillos patriotas del Norte de la Provincia de Kiang-Nan, llamados “lanceros rojos” pasan uno tras otro a las filas del ejército expedicionario japonés y combaten eficazmente contra los bandidos de esa región. En el departamento de Wuang existen más de mil soldados de esta agrupación, cuyo primer éxito bajo la bandera libertadora fué obtenido contra un ejército de

los bandidos compuesto de varios cientos de soldados.

EJERCITO CHINO DIRIGIDO POR TECNICOS EXTRANJEROS

TOKIO, 10. — Se cree que las categóricas declaraciones del príncipe Konoye sobre las acciones militares en China, se refieren al movimiento envolvente del ejército japonés, que avanza desde el Norte y desde el Sur de China, hacia la línea del Ferrocarril de Lung-Hai, donde está concentrado el ejército reorganizado chino, de 500.000 hombres, dirigido por técnicos extranjeros y con abundante material bélico procedente de varias naciones. De las declaraciones del Príncipe Konoye, se deduce que las operaciones estratégicas van llegando a su término y que se confía en el pleno éxito.

TROPAS NIPONAS EN ANWEI

SHANGHAI, 10. — El ejército expedicionario japonés en ésta comunica que varias unidades del mismo ejército preparan una ofensiva contra el ejército chino acampado al Este de Lu-Chow. Tres destacamentos del ejército de observación se apoderaron de varias fortalezas de la provincia de Anwei.

CONVENIO COMERCIAL JAPON-MANCHU-KUO-ITALIANO

TOKIO, 11. — La delegación económica italiana que acaba de visitar a Manchukuo, a su regreso a esta capital, ha realizado la primera conferencia con el ministro de relaciones exteriores del Japón y el embajador de Manchukuo, concretando la oferta de hacer compras anuales en Japón y Manchukuo hasta el minimum de 30 millones de yens, con la condición de que Japón y Manchukuo, conjuntamente, hagan lo mismo.

NUOVA ADVERTENCIA DEL GOBIERNO DEL JAPON A LOS EXTRANJEROS RESIDENTES EN CHINA

TOKIO, 11. — El Gobierno de Tokio ha impartido órdenes, reiterando los consejos dados en diversas ocasiones, que dadas las condiciones militares imperantes en el territorio chino, a pesar de la buena voluntad del Japón de proteger las vidas y propiedades de los extranjeros allí residentes, es conveniente que busquen refugio en las zonas seguras para evitar consecuencias desagradables.

Insalva un crucero alrededor del mundo en sus próximas vacaciones

Quando vaya usted a Europa, hágalo pasando por el Oriente

PASAJES MUY VENTAJOSOS

Para informes dirigirse a:

Osaka Shosen Kaisha

Dirección: Puerto Sáenz Peña 625. - 2º piso

PAGINA DE ACTUALIDADES

RADIO DE TOKIO — TRANSMISION DIRECTA

Las estaciones J. Z. J. de Tokio (11.800 K. C.) y J. K. Z. (15.160 K. C.), han fijado sus horas de transmisiones dirigidas para Sud América, como sigue: todos los días a las 6.45, hora de Tokio, que corresponden a las 17.45 horas de Buenos Aires.

AMOY EN PODER DE LOS NIPONES

HONG-HONG, 11. — La ruptura del fuego en Amoy desconcertó sobremanera a las autoridades chinas de Cantón. Pidieron inmediatamente el envío de las fuerzas aéreas de Chiang-Kai-Shek para la defensa de Cantón.

Esta madrugada llegaron a ésta más de 30 aviones, posiblemente procedentes de Yün-Nan. La tirantez nerviosa, llega así al más alto grado de tensión a lo largo de la costa austral de China como en víspera de un grave acontecimiento.

HONG-HONG, 11. — La entrada de la marina japonesa en Amoy se ha efectuado dentro de los límites del derecho internacional, en una forma ejemplar, respetando la vida y bienes de los ciudadanos de terceras potencias y de no combatientes. Una escuadrilla aérea ha volado sobre la ciudad antes de la entrada de las tropas, para desparramar el aviso en que se aconsejaba el refugio inmediato de los no combatientes, sobre todo de los extranjeros en los buques de sus respectivos países.

SHANGHAI, 11. — La Isla de Amoy envía anualmente 50.000 comerciantes chinos al extranjero, constituyendo su acción fuente de riqueza y de recursos para el Gobierno Nacionalista Chino. De aquí que se explica fácilmente el golpe dado al mismo por los japoneses al apoderarse de ésta.

EFFECTOS DE LA CAIDA DE AMOY

HONG-KONG, 11. — La noticia de la conquista de la ciudad de Amoy por la marina de desembarco japonesa provocó sensación entre los círculos oficiales chinos de ésta. De inmediato, la Oficina de la Propaganda del Gobierno Chino redactó una información para desvirtuar la victoria japonesa y lanzó la siguiente noticia:

"La marinería japonesa, tan pronto como desembarcó, fué batida enérgicamente por las tropas chinas y derrotada completamente. Los japoneses abandonaron más de 200 cadáveres, 100 prisioneros y los perecidos ahogados en las aguas son innumerables".

La transmisión de la agencia Reuter fué hecha también, más o menos en los mismos términos, que tiene indudablemente por objeto asegurar la confianza del pueblo y contener la conmoción popular que se cree inevitable en caso de una marcada aproximación de las fuerzas japonesas a la ciudad

¡Beba buen café!

EL CAFE DE SANTOS "AGUILA" está elaborado con los mejores cafés que se importan del Brasil, tostados y con un 10 olo de azúcar abriglantado. ¡Nada más!

Muchos cafés que por ahí se exponen, ¿podrían afirmar otro tanto?

Deduzca Vd. y prefiera el

CAFE DE SANTOS "AGUILA"

ES UN PRODUCTO SANT.

de Cantón. La congestión de los refugiados de ésta que se dirigen hacia Hong-Hong es algo espantosa.

CAYO MENCHENG

SHANGHAI, 11. — La poderosa unidad del ejército japonés que conquistó Mencheng, de la provincia de Anwei ha avanzado 20 kms. hacia el norte, que amenaza directamente Su-Chow.

AVANCE EN SHANTUNG

SHANGHAI, 11. — Las tropas japonesas en Tan Cheng, sur de Shantung, empezó a avanzar hacia el sur, apoderándose de la base principal de artillería pesada en Kuei Chang, 14 kms. al sur de la citada posición.

La caída de la zona del gran canal imperial es inminente.

PARTE OFICIAL DEL EJERCITO

PEKING, 11. — El comando japonés, comunica:

1º. — Una unidad del mismo ejército avanzó durante el día de hoy hasta la línea situada a 20 kms. al Sur de Sining, alcanzando la fortaleza de Chiung, defendida por los soldados chinos.

2º. — La aviación militar descubrió más de 10 vagones militares repletos de materiales bélicos, al suroeste de la fortaleza de Chiung, los que fueron bombardeados y destruidos.

3º. — El ejército japonés que actúa al sur de la Provincia de Shantung, conquistó Sia Kwei.

LA PACIFICACION DE SHANGHAI

SHANGHAI, 11. — La obra de la normalización del orden en la ciudad de Amoy progresa rápidamente. Todas las instalaciones militares y aéreas de los alrededores de ésta han sido tomadas si no destruidas, arrancando de raíz todo medio de contraataque o de perturbación, de parte de los soldados chinos o de los bandidos piratas.

LA LIMPIEZA DE SHANSI

TAYUAN, 11. — La pacificación de la provincia de Shansi prosigue con éxito en la siguiente forma:

a) La unidad Minowa derrotó entre Hsing-shien y Tayuan a los guerrilleros pertenecientes al 8º ejército chino compuesto de varios cientos de soldados que huyeron al oeste de la montaña de Shansi.

b) La unidad Ozaki batió completamente a dos divisiones del ejército chino compuestas de 1.000 soldados cada una. Los chinos huyeron hacia el Este.

c) El contraataque del 71º ejército chino fué anulado definitivamente en los campos de Lishih, cuya mayor parte pasó a las filas del ejército japonés.

d) Los guerrilleros de Feng-Yang fueron aniquilados en una acción librada a 8 kms. al oeste de ésta.

UN FUNCIONARIO CHINO COMENTA LAS DECLARACIONES DE WELLINGTON KOO

PEKIN, mayo 11. — Un funcionario del Gobierno Chino del Norte, al comentar las declaraciones del señor Wellington Koo, en Ginebra, manifestó:

"el señor Wellington Koo, ha hecho en Ginebra un cuadro patético de los horrores que trae el actual conflicto que se desarrolla en China. Hace más de veinte años que, como consecuencia del desenfreno político nacido de las rivalidades de los caudillos y de sus ejércitos, China se está desangrando en una guerra despiadada. Por eso, para pacificar a China, y conseguir su verdadera unidad, nosotros hemos constituido el Gobierno del Norte, concordante con el mismo ideal asiático que anima a nosotros y a nuestros vecinos.

COMERCIO ARGENTINO-JAPONES

DATOS OFICIALES DEL JAPON

Exportación en el 1er. trimestre 7.894.957 yen
Importación 6.483.805 "

PACTO MANCHUKUO-ALEMAN

BERLIN, 12. — Los gobiernos de Alemania y Manchukuo firmaron hoy un pacto estableciendo inmediatamente relaciones diplomáticas y consulares, lo que entraña un reconocimiento "de jure" del Manchukuo por el Reich, un hecho de significación política y económica, según opinión de los círculos políticos de ésta.

ACTIVIDADES DE LA AVIACION NAVAL JAPONESA

SHANGHAI, 12. — Informaciones procedentes de Shanghai, confirmadas por la marina japonesa hacen saber que la extraordinaria acción que despliega sobre todo en estos últimos días, la aviación naval japonesa se extiende sobre toda la China Central y Austral. El coronel Suzuki al frente de 30 aviones domina totalmente desde el aire los campos de Suchow. Después de cuatro veces consecutivas de intenso bombardeo, los dos aeródromos, del Sur y del Norte de ésta, fueron destruidos juntos con sus aviones y los depósitos de materiales bélicos y municiones. En Cantón, la aviación naval japonesa realizó un ataque nocturno al aeródromo de esa, destruyendo sus hangares. En los ataques realizados contra los aeródromos de Wen-Chow, Li-Shui y de Nan Chang la escuadrilla japonesa no vió ni la sombra del avión enemigo.

FUE TOMADA LA FORTALEZA DE YENG

PEKIN, 12. — El comando del ejército japonés comunica la conquista de Langerkow, situado 10 millas al suroeste de la fortaleza Yeng de la provincia de Shantung. Una unidad del mismo ejército avanzó rápidamente hasta 8 millas al noroeste de Kinsiang asegurando una posición ventajosa para las próximas operaciones militares de esta región.

LAMPARAS "YAMADA" DE CALIDAD



Luz Clara - Terminación Prolija - Selección Especial

USE LAMPARA "YAMADA"

En venta en las buenas casas del ramo

Advertencia a Gran Bretaña

Por RYUICHI KAJI

Ningún asunto de importancia que ocurra en un país hoy en día, puede dejar de influir en las condiciones internacionales, de la misma manera que todo suceso internacional afecta irremediablemente a cada una de las naciones de que se compone el mundo. Para estudiar las causas de las hostilidades actuales en China, o las medidas tendientes a solucionarlo, es menester tener en cuenta esas condiciones.

Sin embargo, los observadores extranjeros parecen estar todos satisfechos con investigar las causas inmediatas del conflicto o con sólo criticar la acción militar relacionada con el mismo, dando por resultado la división de simpatías, sin razonamiento ni fundamento real. Esto no puede ayudar para la solución del asunto, mucho menos para remover las causas que lo produjeron. En otras palabras, las causas del conflicto chino-japonés del presente deben ser halladas en las condiciones internas del Japón y de China, teniendo en cuenta la situación internacional de ambas naciones en los últimos años. Si no se llega a aclarar esas verdades, que sin ellas no habrá verdadera solución del problema, el asunto permanecerá en pie para reanudar las hostilidades, que cada vez resultarán peores. El autor considera que Gran Bretaña ha cometido el error de mirar el actual incidente chino-japonés bajo un punto de vista estrecho, sin debida consideración sobre la importancia general del conflicto, razón por la cual escribo estas líneas, especialmente dedicadas a ella, con la esperanza de encontrar eco favorable entre sus hombres de Estado.

Es innecesario decir que Gran Bretaña ha estado interesada profundamente en China, desde la Guerra del Opio ocurrida a mediados del siglo pasado, y puede quizá ser considerada como "pioneer" en la obra de modernización de China. Fué asimismo, aliada del Japón durante dos décadas anteriores a la conferencia de Washington. Estos antecedentes tienen gran importancia para Gran Bretaña, la cual debe estudiar con sumo cuidado para interpretar el problema.

Nosotros los japoneses no olvidamos lo que Gran Bretaña ha hecho para nosotros desde la restauración de 1868. Pero confiamos también que el pueblo de Gran Bretaña sabrá lo que ha hecho el Japón por su aliada, con la lealtad digna de correcto samurai a través de más de medio siglo de amistad sincera, especialmente durante la guerra mundial.

En el congreso de la paz de Versalles, en Washington y en Londres, Japón se portó extremadamente moderado, tratando de armonizar las diferencias de criterio. Mientras que Gran Bretaña y Francia se adueñaron del "bocado de cardinal" de la Guerra Mundial, Japón se mostró contento con el insignificante mandato de las islas del pacífico, ex colonias de Alemania. Cuando Japón el devolvió a China la península de Shantung, tomada a los alemanes, esperó que tendría, en cambio, la completa seguridad reconocida por todas las potencias acerca de los intereses y derechos especiales en Manchuria. Fué por esta creencia, que Japón obró con toda condescendencia con respecto a otros asuntos.

¿Qué sucedió, después? China se mostró descontenta, y aprovechando la actitud moderada del Japón, que ella la interpretó como debilidad japonesa, fomentó de súbito un movimiento anti-extranjero en todo el territorio chino, movimiento que al principio fué dirigido principalmente

contra Gran Bretaña y los Estados Unidos, para luego tornarse contra el Japón.

Hay quienes sindician el movimiento anti-japonés como un medio para la unificación nacional de China. Pero no hay razón alguna para admitir semejante explicación. Por el contrario, la unificación de la nación a menudo favorece el estrechamiento de las relaciones con el exterior. Sea como fuere, la política anti-extranjera es contraria a la regla de la moralidad internacional.

Y la política liberal del Japón hacia China de 1921 hasta 1931, estaba destinada a producir un resultado adverso, a tal punto, que los derechos e intereses especiales del Japón en Manchuria fueron amenazados seriamente con la anexión inconsculta de las cuatro provincias de Manchuria al control directo del Gobierno Nacional de Nankin. La política conciliatoria del ministro Shidehara, la diplomacia de amistad adoptada por el Japón fué aprovechada por China para hostilizar y perjudicar al Japón, obligando a éste a cambiar de política.

Lo que precipitó esta tendencia fué la crisis financiera de Wall Street de 1929. Las exportaciones del Japón a los Estados Unidos, que representan una gran parte del comercio exterior del Japón, disminuyó en más de la mitad, lo que provocó un malestar industrial y comercial del Imperio. La conferencia de Londres de 1930, que permitió al Japón economizar en los armamentos no fué suficiente para aliviar las condiciones, difíciles por que venía atravesando el país desde la catástrofe del año 1923. Como no fuera suficiente todo esto, sobrevino la crisis general del mundo que produjo el pánico financiero de Europa en 1931, que hubo de repercutir también en el Japón, aunque no tan agudamente como en Europa.

Bajo tales condiciones, la política hostil de China, ha producido un cambio de tono por parte del Japón, que se vió obligado a defenderse seriamente para su propia seguridad.

El incidente manchuriano ocurrido en ese entonces, había de venir aún sin ese atropello de parte de los soldados chinos, porque la situación era ya insostenible. Los chinos trataron de violar todos los derechos de los japoneses en ese territorio, cometiendo además, actos de bandolerismo apoyados por las autoridades de Nankin.

Tuvieron, además, influencias en el desarrollo de tal incidente, la caída del gobierno Laborista de Gran Bretaña y la suspensión de la conversión de oro adoptado en Inglaterra poco después, que produjo la alarma en el Oriente.

Como hemos visto, la política del Japón que abandonó la conciliatoria con China, era el resultado inevitable de la política china. Y también, por los efectos de la política económica adoptada por Gran Bretaña, que hizo la guerra a la industria japonesa, cerrando los mercados de sus colonias para la producción japonesa.

El año 1931 fué el comienzo de una época histórica que merece ser estudiada con todo cuidado por los historiadores futuros. En ese año, Gran Bretaña y Japón se vieron obligados a tomar dos rumbos diferentes por razones de ciertos defectos del capitalismo internacional financiero. Estas dos naciones están encaminadas hoy todavía en las mismas direcciones tomadas en 1931, razón que explica el estado actual de ambos en el incidente chino-japonés de ahora.

Los intereses que posee Gran Bretaña en China

son grandes y mucho mayor que los que posee en Japón, viven muchos ingleses en China, que defienden a China, mientras que los que viven en Japón, que conocen la actitud inamistosa de China, defienden al Japón. Llegan a Londres más informaciones chinas que japonesas, y el público de Inglaterra acepta esas informaciones sin confirmación.

La animosidad de los círculos industriales de Inglaterra por la competencia japonesa, aprovechó la circunstancia para perjudicar a su competidor, mientras que el gobierno, gravemente preocupado por diversos asuntos internos y externos, no ha sabido estudiar el problema del Oriente con la atención y cuidado que generalmente suele prestarle. Mas la situación difícil de Gran Bretaña es la consecuencia de la revolución industrial del mundo.

Todos los países están en dificultades. Japón tiene sus dificultades económicas e industriales, lo mismo que Gran Bretaña. Si ambos países pueden considerar las dificultades del otro con la misma atención que la suya propia, con miras de cooperar, en vez de causarle daño y aumentar aún más sus dificultades, la situación se cambiará rápidamente.

En la cuestión chino-japonesa, si Gran Bretaña estudia las condiciones internas de China y del Japón, y las necesidades y conveniencias de ambos, coordinando los esfuerzos suyos para hallar el modo de mejorarlas en beneficio general, en lugar de aprovechar las dificultades ajenas para sacar ganancia individual, que ni normaliza la condición no puede esperar prosperar con su negocio que no será duradero, haría una obra encomiable.

Si Gran Bretaña, que está capacitada para reflexionar sobre el particular, en vez de fomentar la ruina de China, la aconseja debidamente, no faltarán chinos cuerdos que le escucharán y podrá así continuar cooperando en el Asia Oriental con China y Japón, en bien de la humanidad.

NOTA: El señor Kajji pertenece a la redacción del Editorial del diario Asahi, de Tokio.

La Poesía Gaucha

Por LEOPOLDO LUGONES

No era grande, que digamos, la necesidad de comunicación social entre aquellos hombres de la llanura. La pulpería con sus juegos y sus libaciones dominicales, bastaba para establecer ese vínculo, muy apreciado por otra parte; pues los gauchos costeaban en su busca desde muchas leguas a la redonda. Perteneía, por lo común, a tal o cual vasco aventurero que llevaba chiripá y facón antes de haber aprendido a hablar claro, conciliando aquella adaptación campesina con la boina colorada a manera de distintivo nacional. Detrás del mostrador fuertemente enrejado en precaución de posibles trifulcas, que echaba al patio, MANU MILITARI, por decirlo así, con vigorosas descargas de botellas vacías alineadas a la ceca como proyectiles, el pulpero escaneaba la caña olorosa o el bermejo carlón de los brindis, mientras algún guitarrero floreaba pasacalles sentado sobre aquel mueble. Tal cual mozo leído delectaba en un grupo el último diario de la ciudad. Otros daban y recibían noticias de la pasada revolución o pelea famosa entre dos grupos de fama. Todo ello en lenguaje parco y reposado que parecía comentar el silencio de los campos peligrosos.

Sastrería Japonesa

Fundada en el año 1916

de S. Katayama

PIEDRAS 572

U. T. 33-5452

KOKUSAI BUNKA SHINKOKAI

Sociedad de Fomento de Cultura Internacional

TOKIO — JAPON

Agente en Buenos Aires: G. Yoshio Shinya

Facilita gratuitamente toda clase de informaciones culturales relacionadas con el Japón. Atiende personalmente todos los días hábiles, menos sábados de 16 a 18 horas en la secretaría del Instituto Cultural Argentino-Japonés.

Museo Social Argentino, Viamonte 1435.

La pampa con su mutismo imponente y su monotonía, tan característicos que no hay estepas ni Saharas comparables, predisponía poco a la locuacidad. Durante las marchas en compañía, el viento incesante, la fatiga de jornadas muy largas por lo regular, la necesidad de observar sin descanso el rumbo incierto y los riesgos frecuentes, eran otras causas de silencio. Cualquiera que haya viajado por nuestras llanuras, conoce esta particularidad, a la cual agrega la impresión del desierto una especie de bienestar filosófico. "El campo es tan lindo, me decía cierta vez un gaúcho, que no da ganas de hablar". A esta suerte de misticismo poético, mezclábase el mutismo peculiar del indio y el no menos característico del árabe cuyas sangres llevaba el gaúcho en sus venas. Con ello volvíose sentencioso, definiendo su economía de palabras con frases generales y sintéticas que solían ser refranes. Sólo cuando contaba cuentos en torno del fogón expedíase con mayor abundancia. El auditorio permanecía mudo, saboreando lentamente el mate o el cigarrillo, y sólo de tarde en tarde comentaba con alguna interjección, refrán o carcajada los períodos más interesantes.

El adagio fomentaba aquella sobriedad verbal con su brevedad categórica, siendo a la vez el sabio comentario de situaciones siempre repetidas y habituales al gaúcho, aventurero fatalista, por otra parte; es decir, inclinado a las sentencias que formulan las irrevocabilidades del destino.

La poesía en sus cantos era breve: tal cual copla suelta en ritmo de seguidilla o de romance. Hasta en los juegos de carreras, tabas y naipes, que constituían las reuniones principales de la campaña; en las comilonas que sucedían a las hierras; en los

bailes con que se festejaba algún casorio o la incorporación de algún angelito al cielo por muerte de niño, mostrábase el gaúcho taciturno. Su predilección por la guitarra, manifestábase en prolongados pasacalles y recitados monótonos, que eran más bien un comentario al reposo meditabundo del desierto; pero ello definía en su alma un rango de amable superioridad. El gaúcho no fué alcoholista. El grato clima, la alimentación abundante, el trabajo libre y alegre, contribuyeron a su sobriedad. Con las piernas cruzadas sobre el recio mostrador de la pulpería, digitaba durante horas enteras la tonada habitual, frente a la copa de anís o de agupié ordinario consumida con lenta moderación. Sólo después de algún triunfo notable en pelea, carreras o riñas de gallos, embriagábase por festejo.

Pero el domingo, la pulpería aislada en la rampa como una barcaza en el mar, izaba en la punta de un largo palo, que era igualmente vigía para observar a los indios merodeadores, un guión, blanco si no había más que bebida, rojo si también vendía carne. Los gauchos llegaban con sus parejeros de carrera y sus gallos. Pronto disponían en el suelo aplanado, cancha para la taba. Otros concertaban sobre el mostrador, partidas de truco y de monte. Allí buscábase los valientes de fama "para tantearse el pulso" en duelos provocados por una trampa de juego, una pulla o un poético lance de contrapunto. Este último incidente provenía de una institución y un tipo que han sido la honra de nuestra campaña, al comportar su ejercicio el culto apasionado de la poesía.

Tratábase de certámenes improvisados por los trovadores errantes, o sea las payadas en que se lucían los payadores. El tema, como en las églogas

de Teócritos y de Virgilio, era por lo común, filosófico, y su desarrollo consistía en preguntas de concepto difícil que era menester contestar el punto, so pena de no menos inmediata derrota. El buen payador inventaba, además, el acompañamiento recital de sus canciones, y aquellos lances duraban a veces días enteros. Había asimismo concursos de danza, los famosos malambos, en los cuales dos hombres improvisaban figuras coreográficas que no debían repetir jamás, pues con esto perdían la partida.

(Continuará).

ACTIVIDADES MILITARES

SHANGHAI, 12. — La Oficina de Informaciones de la marina japonesa comunica que las tropas japonesas entradas en la ciudad de Amoy, consiguieron, con la ayuda de la escuadrilla aérea, ocuparla totalmente. La marinería de desembarco persigue tenazmente al ejército chino desalojado de la ciudad y de sus alrededores. Dentro de la ciudad el orden y la tranquilidad se han establecido definitivamente. Los cuarteles del ejército chino, baterías y las demás instalaciones militares han caído totalmente en manos de las tropas japonesas ayer.

TOKYO, 12. — El Estado Mayor Japonés comunica oficialmente que la Ciudad de Amoy, la isla y sus baterías han caído totalmente en poder de las tropas japonesas.

<p>"NAMBEI" Compañía de Importación y Exportación Sociedad Anónima Telegramas "NAMBEI" U. T. (33) 3001, 3002, 3003, 3004, 3008 y 3571 T. T. Buenos Aires, 904</p>	<p>T. NISHIZAWA Representante de Mitsubishi Shoji Kaisha, Ltda. FLORIDA 229 U. T. 38-5466-2981</p>	<p>F. KANEMATSU y Cía. Ltda. Importaciones y Exportaciones JUJUY 138 - U. T. 45, Loria 5823 y 5824</p>	<p>S. TSUJI Importador BALCARCE 682 - U. T. 33 Avda. 5744</p>
<p>H. KATO Unica Fábrica Japonesa de Tejidos de Sedas y Gran Instalación de Tintorería HERRERA 2097 y 2111 - U. T. 21-1841</p>	<p>S. YAMADA y Cía. Importadores MORENO 2039 U. T. Cuyo, 47-4354 y 4405</p>	<p>PIDA SIEMPRE Marca KANEBO PARA TEJIDOS RIVADAVIA 1210 (4o. piso) U. T. 38 - 3239</p>	<p>LA MAISON SATUMA K. YOKOHAMA Objetos de Arte y Antigüedades ESMERALDA 1080 - U. T. 31-8601 Sucursal: SUIPACHA 865 - U. T. 31-4837</p>
<p>SADAO HATTORI IMPORTADOR Especialidad en artículos de Cepilería LINIERS 649 - U. T. 45, Loria 3218</p>	<p>IDA y Cía. Ltda. (Takashimaya) Importadores y Exportadores RODRIGUEZ PEÑA 162 U. T. Mayo 38-3419</p>	<p>M. OMURA Importador de artículos generales del Japón SAN MARTIN 235 - U. T. 33-2683</p>	<p>S. KAISEKI Representante de DAIDO BOEKI KAISHA LTD. Kobe, Japón Importación y Exportación VENEZUELA 1034 - BUENOS AIRES U. T. 38 - Mayo 7286</p>
<p>KATSUDA y Cía. Importadores MEXICO 1474 - U. T. 38, Mayo 2313</p>	<p>N. HARA y Cía. Importadores BELGRANO 1470 U. T. Mayo 38-2438 y 9487</p>	<p>S. ANDO y Cía. Importadores DEFENSA 532-40 U. T. 33 (Av.) 2296</p>	<p>NAOJI SAITO BUENOS AIRES BOEKI ASSENJO ROQUE S. PEÑA 616 - 7o PISO U. T. 33-1452</p>
<p>B. TAKINAMI Importador Casa Establecida en el año 1905 VICTORIA 733 - U. T. Mayo 38-3413</p>	<p>CARLOS C. ISHIY Importador y Exportador Bm6. MITRE 341 - U. T. 33 Avda. 9782</p>	<p>JIRO HONDA y Hno. Importadores de Artículos Generales del Japón MORENO 1320 - U. T. 38 Mayo 2718</p>	<p>GUIA JAPONESA LEGACION DEL JAPON: Reconquista 336. — U. T. 31-3193. CONSULADO DEL JAPON: Reconquista 336. U. T. 31-0978 CAMARA DE COMERCIO JAPONESA: Avenida Roque Sáenz Peña 618. — U. T. 33-1452. INSTITUTO CULTURAL ARGENTINO-JAPONES: Viamonte 1435. ASOCIACION JAPONESA: Patagones 840. — U. T. 23-4893. COMPARIA DE VAPORES O. S. K.: ROQUE S. PEÑA 616 - 2o PISO U. T. 33-1051 - 1062 - 1066 y 3886</p>
<p>I. HIROTA Importador de artículos generales del Japón CHILE 1029 - U. T. 37 (Riv.) 0251</p>	<p>S. YOKOBORI Representante de FUJISAKI y Cía. CANGALLO 499 3er. Piso Esq. N.º 21-22 - U. T. 33-9390</p>	<p>Casa "YAMANAKA" Oriental Fine Art Curious VIAMONTE 624 - U. T. 31 7846</p>	
<p>N. IKEDA The National City Bank of New York BARTOLOME MITRE 502 U. T. Avenida 38 - 4081</p>	<p>TARO MURAI Unica Casa Introdutora de Porcelana "NORITAKE" MAIPU 463 - U. T. Retiro 31-8186</p>	<p>K. YASUNAGA Compañía Argentina, Comercial e Industrial de Pesquería DEFENSA 1597 U. T. 33-8256</p>	